

具体的目標の実施計画表

1 教える行動を決めましょう

友だちと話をするときには、「あったか言葉」で伝えよう。

2 子どもたちに伝える「この行動を学ぶ理由」を考えましょう

- あたたかい気持ちが伝わり、自分も相手も優しい気持ちになるから
- 「あったか言葉」をつかうと、言った人も言われた人もうれしいから
- クラスも学校も笑顔いっぱいになるから
- 友達と仲良くなれるから

3 指導の方法を考えましょう

- 「あったか言葉」を各学年の教室に掲示する。
- 朝会で、具体的な場面を設定しロールプレイをする。
- 「あったか言葉」が聞かれたときに、学級で紹介する。
- 帰りの会で、友達から言ってもらった「あったか言葉」を発表する。
言ってもらって嬉しかった言葉を葉っぱに書いて「あったか言葉の木」に掲示する。
※児童玄関の1年生の掲示板を使用する。

4 褒め方を考えましょう

- 「あったか言葉」がつかえた時に、すぐに褒める。
- 朝会で紹介する。(日記・あったか言葉の木・日常の様子)
- 帰りの会で今日のあったかさんを発表する。
- 帰りの会で「あったか言葉」を学級全体に紹介し褒める。
- 「あったか言葉」がつかえた回数をグラフ化し褒める。

5 子どもたちの行動を記録する方法を決めましょう

- 「あったか言葉」を言われた人の数を記録していく。
(時間を限定する。業間・昼休みなど・・・)
- 「あったか言葉」を掲示していく。「あったか言葉の木」